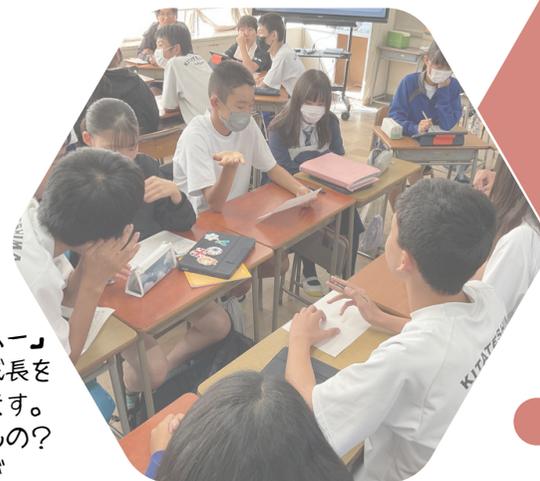


# TM通信 学ぶ喜び VOL.1

## 一仲間とともにつながる学校へー



「確かな学びをはぐくむ学校づくり」推進校の委託を受け、研究部も年度初めから活発に動いています。この事業は府/市の課題に対して、本校の実態に合わせて、学校全体で授業改善・学力向上に取り組むものです。

先日アンケートや各種テスト等で明らかになった課題を共有しますのでご確認ください。今年度の本校の研究主題「学ぶ喜びの創出ー仲間とともにつながる学校へー」を念頭に、学校全体で取り組んでいきます。生徒がともに学び、学びの喜びと自分の成長を実感する、卒業後も主体的に学び、他者とつながれる人になれる。そんな学校をめざします。

よい授業とはどんな授業？ 授業は教師が「する」もの？子どもは授業を「受ける」もの？ 「主体的に学ぶ」は要求されている時点で…？など、はっとするような問いや気づきがうまれるかもしれません。生徒にさせる前に。私たちも「仲間とつながりともに学ぶ職員室」へ。

### 課題認識・設定

### 研修

### 検証

市の課題  
個々の応じたきめ細やかな指導の充実  
基礎学力の確実な定着  
本校区3校児童生徒の共通課題  
学習習慣の定着及び思考力表現力の向上  
本校生徒の課題  
自己有用感・効力感の向上  
教員個人の研究課題  
ライフワークバランスを大切にしたい  
個々の授業力・教育力の向上

課題に対する効果的な研修スタイルと内容の吟味

4・7・10・1月のアンケート実施・各種テストの結果検証

教職員の学びと生徒の学びは相似形。  
教職員も主体的対話的で深い学びをめざし、  
従来の知識伝達型の研修からの転換を図ります。

効果を検証し、改善・別の方法への調整等を行います。  
年度内であっても、変更・改善・削減・追加可能なことには  
随時向き合います。



具体的な取り組みの共有

主体的・対話的で深い学びを実現させるため、今年度、北中では「生徒同士がつながる授業づくり」を行います。どうすれば、生徒同士がつながる授業を創れるのか、授業見学や研座、研修等で考え、実践につなげます。具体的には、各授業（単元）の課題について、個人で考えたり演習したりするだけでなく、ペアやグループでの対話を通して、協働的に問題解決に取り組み、他者と意見交換する中で、新しい気づきを得たり、考え方が変わったり、さらには、深まったり、整理できたりすることをめざします。

日々の授業実践・教育実践に活かす

生徒同士がつながる授業を創るために

- 授業の土台となる、学級づくり（集団づくり）、環境整備、授業規律を大切にします。
- どのような課題設定、ファシリテーションが、生徒の対話を活性化させるか、研鑽します。
- 対話のもととなる、知識の定着のための講義型授業と活動のバランスや家庭学習課題の設定のしかた、補充や朝学習等について、よりよいかたちを模索します。
- 生徒の活動を適切に見とり、評価する方法について学び、生徒のやる気を促す形成的評価を取り入れ、指導と評価の一体化をめざします。

検証結果を踏まえ、次の課題へ

生徒がつながるのは他の生徒だけではなく…

- 教員はもちろん、地域や社会とのつながりはどう拓げていく？
- 生徒たち（私たち教員も）がどのように社会とかわり、よりよい人生を生きるか。（ウェルビーイングの実現）
- 「学校/教員」が手を放しても、生徒たちが学びを活かし、よりよい生活や社会の創造に向けて、自他を尊重すること、自ら取り組んだり異なる他者と力を合わせたりすること、社会に寄与し貢献することに、前向きに取り組めるよう、研究をつづけていく。